

平成21年6月30日
水産庁

水産物の市況について(平成21年6月及び7月)

—東京都中央卸売市場における平成21年6月(平成21年5月21日～6月20日集計)の市況と、
平成21年7月の市況見通し(前月との比較)—

I 平成21年6月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計)は前月と比べやや増加となり、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)はやや弱含みに推移しました。

II 平成21年7月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は前月と比べるとやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。(主漁場は犬吠埼周辺)

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は消費地では新物ときさけの入荷があるものの全体的には前月並みと見込まれ、卸売価格も横ばいに推移すると見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量はゴマサバ主体に好漁であるため、前月と比べるとやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。(主漁場は北部太平洋海域の犬吠埼沿岸)

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

入荷量は昨年と同様にサイズは小さいが、引き続き好漁とみられ前月よりも増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は前月と比べるとやや減少すると見込まれ、卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。(主漁場は山陰沿岸、九州西岸、駿河湾～伊豆諸島、犬吠埼沿岸)

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は昨年を大幅に下回る水揚げだが、在庫量が多いこともあり前月並みと見込まれ、卸売価格も横ばいに推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

平年では巻き網から竿釣りに切り替わってくる時期であるが、今年の竿釣りはこれからピンチョウからかつおに向かうとみられ、入荷量は前月並みと見込まれる。卸売価格は需要のピークが過ぎたことから弱含みに推移すると見込まれます。(主漁場は常磐の東沖～伊豆諸島東沖の黒潮本流部、九州～四国沿岸)

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11～20	増加(減少)	強(弱)含み
21～51	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)
(単位:千トン、円/kg)

	6月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
21年	53	767	48	798	54	792
前年	56	813	53	825	58	834

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。
注2:入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	6月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	584	95	90	92
さけ・ます(平均)	661	107	116	109
(ぎんざけ塩蔵品)	683	100	109	110
(あきさけ塩蔵品)	333	72	87	90
(ときさけ塩蔵品)	840	112	104	103
(べにざけ塩蔵品)	998	105	114	112
(さけ類冷凍品)	632	100	113	112
さば(生鮮品)	317	86	76	94
するめいか(平均)	393	85	89	96
(生鮮品)	415	65	81	98
(冷凍品)	340	118	104	100
あじ(生鮮品)	499	101	87	90
まぐろ(冷凍品)	1,281	97	84	98
(めばち冷凍品)	828	99	78	93
(きはだ冷凍品)	729	100	79	107
(くろまぐろ冷凍品)	3,093	91	76	100
(みなみまぐろ冷凍品)	2,096	96	71	94
かつお(生鮮品)	913	80	108	135

注1:品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2:6月の価格は1~20日までの速報値。平年とは平成16年~20年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先:水産庁加工流通課企画調査班
代表 03-3502-8111
内線 6617 中谷、小林
直通 03-3591-5612